

県高体

第61回県高体はメイン期間2日目の31日、各地で17競技を行った。サッカーは男子が尚志、女子は富岡・ふたば未来学園が頂点に立った。さまざまな団体はサベリオが初優勝、相撲の個人無差別級は志賀秀登(相馬豊)が連覇。ウエイトリフティング94キ級は青木智也(田村3年)が大会新で制した。メイン期間最終日の1日は7競技を行った。

サッカー

(福島市・とうほう・みんなのスタジアム)
◇男子7決勝
尚志1000 学法石川3位決定戦
※尚志は6年連続8度目の優勝
帝京安1000 富岡
◇女子7決勝
富岡・ふたば1000 桜の聖未来
※富岡は今年より8度目の優勝。ふたばと合同では初の優勝

後半に攻勢を強めた尚志が粘る学法石川をかわ

男子尚志6連覇

平成27年6月1日

福島民報新聞

福島民友新聞

F W柳原決勝弾 粘る学法石川かわす

後半に攻勢を強めた尚志が粘る学法石川をかわす。尚志のDF普賢悠(2年)のパスをゴール左側で受けたFW柳原隆(23年)が得意のドリブルでDFをかわし、右足でゴール右隅に蹴り込んだ。

柳原は「練習の成果をいい場面で出せた。期待に応えられた」と自身の大会初得点を満面の笑みで振り返った。0-0で迎えたハーフタイム、中村浩一監督に試合決替えた。

柳原は「シュートの精度を高め、点に絡む役割を果たす」と全国大会での得点量産を宣言した。主将のDF茂木星也(3年)は「守備を強化し、全国制覇を目指す」と意気込みを語った。

柳原は「シュートの精度を高め、点に絡む役割を果たす」と全国大会での得点量産を宣言した。主将のDF茂木星也(3年)は「守備を強化し、全国制覇を目指す」と意気込みを語った。



【サッカー—男子決勝—学法石川—尚志】後半20分、高志FW柳原11が右足を振り抜き、決勝点となる先制ゴールを決める
—とうほう・みんなのスタジアム



6年連続の優勝を決めた尚志イレブン

尚志 6連覇

柳原決勝ミドル

富岡・未来 女子で頂点

富岡・未来は女子サッカーで優勝した。富岡・未来は女子サッカーで優勝した。富岡・未来は女子サッカーで優勝した。

富岡・未来は女子サッカーで優勝した。富岡・未来は女子サッカーで優勝した。富岡・未来は女子サッカーで優勝した。



第61回県高体育大会サッカー大会決勝、2日目の31日、各地で16競技を行った。サッカーは男子が尚志、女子は富岡・ふたば未来学園が頂点に立った。尚志は6年連続で優勝した。富岡・ふたば未来学園は女子サッカーで優勝した。

県高体